

## 品川区いじめ根絶協議会（第2回）議事録

実施日時：平成28年11月25日午後2時から午後4時  
会 場：品川区立荏原第六中学校

- 1 教育総合支援センター長挨拶
- 2 委員紹介
- 3 報 告①  
＜品川学校支援チーム HEARTS チーフスクールソーシャルワーカーより、いじめ対応について報告＞
- 4 授業見学  
＜荏原第六中学校 校長の説明により、荏原第六中学校の授業見学＞
- 5 報 告②  
＜荏原第六中学校 生活指導主任より、学校におけるいじめ防止に向けた取組について説明＞
- 6 報 告③  
＜荏原第六中学校 生活指導主任より、生徒によるいじめ防止に向けた取組について説明＞
- 7 意見交換会

＜意見交換会内容の報告＞（要旨）

### 【第1グループ・A委員】

授業の様子を見て、一つのことにまとまって話ができるようになってきていることに生徒の成長を感じた。

生徒同士で手紙を書き、その場で交換できる程子どもたちを信じられるところが素晴らしい。子どもたちを教師が信じて、子どもたちもそれに応えてできた授業だった。

### 【第2グループ・B委員】

マイナス面をプラス面に換えて捉えていく作業は大事だが、社会に出たときに相手はそのように捉えてくれずマイナス面を指摘されてしまうことも考える必要があるのではないか。

荏原第六中学校では自己肯定感を高めていくという経営方針が特徴的であり、教員も生徒たちの主体的な活動を促すことを心掛けているという説明があった。授業にも、

相手の良いところを認めていくということが表れていて良かった。

#### 【第3グループ・C委員】

生徒がリラックスしていてフリーに話し合える雰囲気の授業であり、生徒の表現力も育ってきているように見えた。

友だちに手紙を書く活動では、すべての手紙に良いことが書いてあるとは限らないため、これからの扱いを考えていく必要があるのではないかな。

また、短所を長所に変換する活動では、発想の柔軟性が見られて良かった。この作業はもっと時間をかけて丁寧に実施した方が良いのではないかな。

#### 【第4グループ・D委員】

授業に生徒全員が参加していたことが良かった。教師と生徒のつながりが普段からあるという雰囲気が伝わってくる授業だった。

長所に目を向けるという授業内容は、人と関わるうえでとても重要であり、良い視点である。一方で短所があるといじめられる対象になりうると認めてしまうようにとられかねないため、注意が必要である。

#### 【まとめ】

各グループの発表をしていただいた。小学校に続き中学校でも命の教育をすると良い結果がでるというデータがある。荏原第六中学校では動物を飼育したり花を植えたり命の教育をしていることは素晴らしい。さらに、「六中宣言」という目標を唱和する運動をしていることが良い。

## 6 事務連絡

<事務局より今後のスケジュールについて、次回は平成29年2月24日に開催を予定>

## 7 閉会